



Appoggio



(アポージオとはイタリア語で、支援・応援を意味する言葉です。)

平成26年3月発行

編集・発行 みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部事務局

平成25年度みやぎ地域づくり団体協議会

石巻支部交流会 が開催されました。

2月15日(土曜日)、雪が吹きすさぶ中、みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部交流会が県石巻合同庁舎で開催されました。

交流会では、活動報告と意見交換会を実施。活動報告を予定していたあじ朗志組は、網地島からの船が欠航したため、残念ながら欠席となりましたが、特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンターの松村代表理事と、昨年度新規会員となったあおいそらの会の蜂谷代表から活動報告のお話をいただきました。

意見交換会では、活動を行う上での展望や課題など、活発に意見交換が行われました。

【活動報告1】

特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター (松村代表理事)



(松村代表理事)

特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンターは「いつでも誰でも気軽にスポーツが楽しむことができるまちづくり」をモットーに、平成15年から活動を開始。子どもたちにスポーツをする場を提供することを通して、自分たちで考え、行動する力を養うことを目的として活動を続けています。震災後は、仮設住宅の入居者のコミュニティ形成に寄与する活動などにも力を入れています。

また、仮設住宅の雪かきを行政が行わないことが新聞等で非難されたことを引き合いに、「被災者の中には、何でも行政がやってくれるという意識が根強い人たちがいる。震災から3年が経過するので、いつまでも行政やボランティアなど人頼みではなく、自分たちのことは自分たちでやるという意識が必要だと思う。震災から3年が経過した今、被災者が自分たちのことを自分たちでできるような支援を行っていくべきであると思う。」とのお話をいただきました。

【活動報告2】

あおいそらの会 (蜂谷代表)

あおいそらの会は、自閉症やアスペルガー症候群などの障害を持つ子どもやその親族の交流を通

して福祉の向上を図ることを目的とした団体。自閉症はその漢字のイメージ（自ら閉じる）からひきこもりと勘違いされるが、感情の抑制が苦手、思ったことをすぐに口に出してしまうなど、他人とのコミュニケーションに支障を生じてしまう先天性の脳機能障害のことです。

自閉症の子どもを持つ親族は、情報交換の場がなく周囲から孤立しがちなため、遠足などを通じて本人や親同士の交流の場を設ける活動を続けています。

また、震災直後、避難所で自閉症などの障がい理解されず、車中での避難生活を余儀なくされた被災者の話や、こだわりが強く、麺類しか口にできない子どもが震災時、食べ物に困ったという話を引き合いに、「自閉症やアスペルガー症候群を多くの人に知ってもらうための活動が必要だと感じた。毎年4月2日が国連の定めた世界自閉症啓発デーであるため、そのような機会も活用し、もっと自閉症やアスペルガー症候群の啓発活動を続けていく。」と話していただきました。



(蜂谷代表)

【意見交換会】

「震災から3年が経過しようとするなかでの、各会員活動の今後の展望と課題」というテーマで、参加者による意見交換が行われました。

意見交換会では、震災前から地道に活動してきたことが震災時に役に立ったという地域づくり活動の重要性や、東日本大震災の被災者への支援方法について、生活に必要な物資を単純に配布するという被災者が依存体質となるような支援から、被災者の自立支援へと転換していく必要性、また、地域づくり活動を行う団体への補助金等の在り方について、活発に意見が交わされました。



(意見交換会の様子)

このほか、関係機関から地域づくりに関連する次の助成金情報提供がありました。

- ・「新しい東北」（復興庁宮城復興局）
- ・「みやぎ地域復興支援事業」（宮城県地域復興支援課）
- ・「宮城県震災復興担い手NPO等支援事業」（宮城県共同参画社会推進課）

平成 25 年度地域づくり総務大臣表彰受賞式

「Appoggio」平成 26 年 1 月号でもお知らせいたしましたが、網地島のあじ朗志組が平成 25 年度地域づくり総務大臣表彰を受賞しました。

表彰では、「子供が一人もない限界集落において、高齢者の生き甲斐とも言える事業を生み出している」ことや「長続きする小さな活動の好事例。補助金を当てにせず、自らの意思で活動を続けている」点などが高く評価され、受賞式が 2 月 1 日に長野県で行われました。



(表彰状を受け取るあじ朗志組の桶谷局長)

会員イベントレポート

3.11 を忘れないウォーキング

(特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター)

東日本大震災から 3 年となる平成 26 年 3 月 11 日 (火)、全世界の方々に震災を忘れないでほしいという思いと震災で亡くなられた方々に対する追悼の意味を込め、3.11 忘れないウォーキングが実施されました。石巻駅を出発し、トケヤ森山 (馬っこ山) へ登り、市街地に戻ってくる約 11 キロのウォーキングです。小さな子どもも一生懸命にトケヤ森の山頂を目指し、頂上では、参加者全員が花一輪を慰霊塔前に供え合掌しました。

下山した一行は、到着地の「復興ステーション BAPPA」へ。到着するころにはやや疲労感が伺われましたが、怪我等もなく全員元気にウォーキングを終えることができました。



(山頂を目指す参加者)



(復興ステーション BAPPA を見学する参加者)

「復興ステーション BAPPA」とは・・・

石巻の人たちが手づくりした商品を紹介・販売するスペース。おばあちゃん家のような懐かしい、落ち着く雰囲気の中で素敵な雑貨を見つけられます。

【出店団体】おだってばりいで、雄勝硯共同生産組合、
田代島はま屋、つむぎや、名振マザーミサンガ 等

住所：石巻市中央 2 丁目 10-3 新田ビル 1F
営業時間：10:00～18:00 (火曜日定休)
問合せ：石巻スポーツ振興サポートセンター
(電話/FAX：0225-96-4334)

助成金情報（講師等派遣事業）

地域づくり団体全国協議会が実施する「講師等派遣事業」の平成26年度事業の募集が開始されています。

会員の皆様が行う自主的・主体的な地域づくりのために、講師等を招聘して開催する研修会等の事業について、招聘する講師に係る謝金・旅費を各10万円、計20万円を限度に助成されるものです。

申請は、事業実施の2ヶ月前までに、都道府県協議会を通して全国協議会に提出する必要があります。また、申請受付期間は平成26年12月31日までとなっていますが、助成金の累計額が地域づくり団体等活動支援事業の予算額に達し次第、受付が終了されますので、平成26年度に事業を予定している場合には、お早めに事務局まで御連絡ください。

詳しくは事務局までお問い合わせいただくか、地域づくり団体全国協議会のホームページ <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/dantai/katsudousien.htm> を御覧ください。

会員情報確認のお願い！

住所や連絡先などの登録情報変更、団体を解散したなど、登録情報に変更があった場合には、事務局まで御連絡ください。

みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部新規会員募集中！

みやぎ地域づくり団体協議会は、宮城県内で主体的な地域づくりを行っている民間団体（法人・任意団体の別は問いません）、関係行政機関で構成されており、地域づくりに関する情報の提供や交流の促進の事業を行っております。

会員になると、①地域づくりに関する情報が届く、②他の地域づくり団体と交流できる、③地域づくり団体全国協議会が実施する「講師等派遣事業」の助成金が使えなどのメリットがあります。会費は無料、入会は随時受け付けております。入会をご希望の方は下記事務局まで御連絡下さい。

この情報紙に掲載する記事を随時募集しておりますので、イベント情報など、ぜひお寄せください。また、ご意見やご質問等がございましたらお気軽にご連絡ください。

みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部事務局

〒986-0812 石巻市東中里一丁目4-32
宮城県東部地方振興事務所 地方振興部内
TEL 0225-95-1414 FAX 0225-95-1471
E-mail et-sinbk@pref.miyagi.jp

